

JARL 創立 90 周年記念

第 39 回アマチュア無線フェスティバル／

ハムフェア 2015 見学記

J A 4 K I 吉岡 謙

今年も、ハムフェアを初日の 8 月 22 日(土)に見学することにして、準備していたら、息子の J R 4 J A X がその前日から、自分の勤務先の銀座にある東京支社のテレビ会議システムの設置工事の為に、上京することになっていることが分かり、22 日は半日位ならハムフェアの見学ができるかも知れない、とのことだった。

息子が J R 4 J A X の免許を取得したのは、小学校 4 年生の 1979 年 6 月で、その年から、当時晴海の国際見本市会場で開催されていたハムフェアを、私と共に見学した。この夏の行事は、それ以来 10 年位続いたが、息子が大学生になってからは、一緒に見学することはなかったので、父子一緒の見学は、約 30 年ぶりになる。

私は、毎年のごとく前日に出発して昼前に東京へ着いて、宿泊することになっているわれわれの共済事業団のホテルへ行き、レストランで昼食を摂ったり、荷物をクロークへ預けた後、徒歩で電気界で名高い世界の秋葉原(最近では「萌え～の秋葉原」hi)へ行き、地方では入手が困難で、上京したときに秋葉原で買うものとして、手帳にメモしておいた色々な電気電子部品を買って、夜はそのホテルに泊ったが、その日の仕事が終わった息子をホテルへ呼んで、レストランで夕食を共にして、ハムフェアへ行く予定を打ち合わせた。

当日 22 日は 7 時半過ぎに、ホテルをチェックアウトして東京駅へ出た。私がハムフェアの会場である東京ビッグサイトへ行くのに、一番便利なルートとして毎年利用しているのが、都バスの「東 16 系統」である。東京駅では八重洲南口の出口へ向かったが、途中コインロッカーに投入する必要数の百円硬貨の持ち合わせが無いことに気付きあわてたが、最近のコインロッカーは紙幣でも支払えるようになっていてホッとした。

コインロッカーへ荷物を預けたりして、東京駅八重洲南口の出口を出たのが 8 時 19 分だったが、すぐ息子と出会うことができ、乗る予定の「東京ビッグサイト」行きの 8 時 21 分発の都バスに、210 円を料金箱へ入れて乗車した。バスはよく空いていて座ることができた。終点東京ビッグサイトの降車場には 9 時 1 分に到着した。

会場は、昨年までと同じく、東京ビッグサイト西 2 ホールで、バスを降りて乗って来たバスの前でバス通りを横断してまっすぐ南東へ約 100m ほど進み、西展示場入り口を入ったところである。

開場まで一時間近くあるのだが、入り口のゲートの前には、既に折り返し状に並べられた可動柵の中に入場する多くの人が行列を作っていた。

すぐ入場整理券の発券窓口へ行き、JARL ライフメンバー会員証を窓口に呈示して、1,500 円の入場整理券を、なんと 600 円引きの 900 円で入手した。入手した入場整理券の券番は、No.015058 だった。入場券の上部には、コールサインと氏名を記入する欄があるが、この記入は、私が悪筆できれいに書けないので、今年もテブライトで、透明のテープにコールサインなどを打ったものを、息子のものと共に作って持って来て、テープの裏に付いている剥離紙をはがして、入場券のコールサインなどの記入欄へ貼る作業を、アトリウムへ入ってすぐ右にあるベンチに腰掛けて二人でやった。

今年も、ハムフェアの会場「西 2 ホール」の隣「西 1 ホール」では、大手服

飾メーカーWORLDの展示販売会のようなことが行われていて、両ホールで共通になっているアトリウムを、JARLが使うことができないらしく、入場待ちのための可動柵は、ハムフェアの会場へ入るゲートの近くにまで並べられていた。

10時が近くなり、メインゲートで開会式の準備が始まった。いつものように、西展示場へ入るためのアトリウムを取り巻いている二階のギャラリーから、アトリウムを俯瞰する様に写真を撮ることにして、ベンチから立ち上がった。二階に出入りするのためのエスカレーターへ乗って、二階のギャラリーへ上がり、メインゲートの反対側の位置から、入場券の発券カウンターの待ち行列、アトリウムに並んでいる入場者の待ち行列、ハムフェア会場の各ゲートの様子などを写真に撮った。

開会式が始まる様子が見えた。普通ならば、開会式が行われるメインゲート近くへ移動してカメラを構えて開会式を待つのだが、今年もメインゲートのすぐ近くまで設置されている可動柵に、入場を待つ多くの人々が並んでおり、メインゲートに近づくことができず、やむを得ず二階のギャラリーからズームを利用して撮ることしかできなかった。

9時45分過ぎから開会式が始まったが、私が居るところは、メインゲートの反対側で、私が居るギャラリーの下には、西1ホールで行われる他のイベントの入場者の行列があり、何となく騒がしくて、メインゲートで行われていることがよく分からなかったが、毎年为例で言えば、主催者であるJARL会長挨拶、来賓紹介、来賓挨拶、テープカットなどが行われた後に、オープンした。

10時ころから入場が始まった。入場者の行列の最後について、可動柵の中を何回か行ったり来たりしてようやく入場した。

今年の入場者は、JARL Webによると、初日の22日(土)は25,000名、二日目の23日(日)は11,000名、延べ合計36,000名で、昨年より2,000名多かった。

実際11時頃から13時頃までは、会場内がかなりのQRMになって、各ブースでは、展示等の様子が、見学者が多くてよく分からないという状態で、会場内の写真を沢山撮ったが、写っているのは見学者ばかりという有様だった。

二日目の入場者数は毎年少なく、一日目の半分以下なので、ゆっくりと見学したいのならば、二日目がおすすめである。

今年も、ここ何年か行われていた美女によるガイドブックの配布が行われていなかったもので、入場してすぐ左側にあるインフォメーションへ行って、ガイドブックをもらい、記念スタンプを押した。ガイドブックには、JARL創立90周年記念会員増強キャンペーンのリーフレットが挟み込んであった。

すぐ近くの「JARL創立90周年記念ハムフェア2015」のブースでは、マルコーニが無線電信に成功してから今日までの「アマチュア無線のあゆみ」という4ページものの一覧表と、表に「モールス符号をユネスコの無形文化遺産へ」、裏に「モールス符号」が出ているA5判の薄い下敷きが入っているJARL創立90周年記念のロゴが入ったクリアファイルをくれた。

近くにある「QSL転送コーナー」へは、持参したQSLを提出した。

ガイドブックによれば、ハムフェア2015は、5つのブロックに分けられている。

AブロックはJARLコーナーで、A-01からA-15まで15のコーナーがある(昨年と同じ)。A-10のイベントコーナーでは、二日間にわたって、11時から16時頃まで、プログラムに従って、9のイベントが行われる。

Bブロックはビジネスコーナーで、B-01からB-24まで24のコーナーがある(昨年より2少ない)。

Cブロックはクラブ(一般展示)コーナーで、C-001からC-115まで115の

コーナーがある(昨年より1多い)。

Jブロックはクラブ(純粋展示・発表)コーナーで、J-01 から J-79 までのコーナーがある(昨年より8多い)。

DブロックはJ A I Aコーナーで、D-01 から D-05 まで、J A I Aの10社の中から5社が出展している(昨年より1多い)。

他に、フードコーナーとして、飲食物を販売する会社が2社(昨年と同じ)と、宅配便を扱ってくれる運送業者が1社(昨年と同じ)入っているはずである。

日本無線協会の、当日受付即日結果発表の第三級・第四級アマチュア無線技士臨時国家試験は、ハムフェア初日の8月22日(土)に、ハムフェア会場の近くにある東京ファッションタウンビルで開催された。

まずBブロックのビジネスコーナーのY A E S Uのブースへ行った。ここには、新見市在住のJ H 4 J Q Cさんの息子さんのJ E 4 H B P/JA1AGSさんがおられるはずで、7月26日(日)に開催された「JARL岡山県支部ハムの集い岡山2015」で講演して下さった礼を述べようとしたが、お出かけの様子で、その後何回かY A E S Uのブースを尋ねて、昼頃になってようやくお目にかかることができた。

次にJブロックの私の母校の「明治大学高周波」のブースへ行き、私とは親子ほど年が違う後輩のJ L 1 L N C納村さんに手土産を渡して挨拶し、置いてあったノートへ、コールサインと氏名を記帳して息子を紹介し、ブースの中へ入って写真を撮って貰ったりした。帰る時にもブースへ寄って、来年もまだ私が生きておれば、またお目にかかりましょう、と挨拶して別れた。

次に、Aブロックだが飛び地になって、会場の東の角にある特別記念局8 J 1 9 0 Yのコーナーへ行って見たが、私が持参したU・VHF FMトランシーバーで交信できるのは、430 MHzと1200 MHzだけで、144 MHzはSSBでの運用の為交信できなかった。10時台にJ A 1 B R P/1とJ A 4 K I/1でQSOすることができた。

総務省電波利用電子申請・届出システム Liteのブースで、何か新しい情報でもと思い近づいたら、アンケートに答えてほしいとアンケート用紙と筆記用具を渡され、案内された記入場所でアンケートに記入した。

記入中に、今年3月にJ A 1 B R Pの再免許申請を、電子申請・届出システム Liteで関東総通に行った際に、「電波利用料の前納をしますか」という質問が表示されたので、「はい」にチェックしたが、実際は毎年預金口座からの引き落としになっていて、前納になっておらず、質問に答えた意味が全くなっていたので、どうしてこうなったのかを担当者に尋ねたいと思ってメールしたが、そのメールに返事をくれた関東総通の相談担当の吉岡さんからは、その後私の電子申請を扱った担当者について、何にも連絡がないのを思い出し、吉岡さんが、今日このブースへ来ていれば直接話を聞くことができると思い、吉岡さんを尋ねたら会うことができた。しかし私にするべき返事を忘れていたことなど全く記憶に無い様子で、ボケ老人と話をしているような状態で、全く話にならず、ものすごくむなしかった。自分が扱ったことで、5ヶ月前のことをこんなにも見事に忘れるような公務員は要らない。大至急返事をくれるように催促して別れたが、本当に分かってくれたかどうか、まだ返事は無い。

アンケート用紙への記入が終わって提出したら、毎年おきまりの、孫が喜んでいろんなどころへ貼りそうな、A5の台紙に私のコールサインが入っているシールがついているものと、昨年11月改訂版の電子申請利用の手引きのパンフレットと、ペイジーのPRリーフレットが入った、電子申請のマスコットガールが印刷されている、派手なクリアファイルをくれた。

11時が過ぎたので、混まないうちに早めに昼食を摂ろうとしたが、会場内にある二つのフードコーナーは、食べ物をテイクアウトしても、座って食べるところが満席になっていて、立ち食いは落ち着かないということから、会場を出て、昨年利用した会場の至近にあるコンビニへ出かけたが、その途中のメインゲート横の入場整理券の発券ブースには、まだ多くの人が柵の中に並んで順番待ちをして整理券を購入していた。

コンビニは、会場内から上りのエスカレーターで二階（アトリウムギャラリーと同じフロア）へ上がり、二階の人口土地に出てすぐのところにある。コンビニでは、サンドウィッチとパック入りのオレンジジュースを買って外へ出たが、そこには、かなりの広さの高い屋根がついた人工土地のフロアに、テーブルとベンチが沢山並んでいた。小笠原から近づいている台風のお陰で、ものすごく風通しが良くて涼しいので、そのベンチに座ってゆっくりと昼食を摂ることができ、レストランへ行くより早く終わって正解だった。

展示ホールへ戻って、JARDのブースへ行ったが、今年はおなじみの、かわいい布製のトートバッグの配布は無かったようだった。

この時、J A 4 D L F 中国地方本部長・理事にお目にかかることができ、息子を紹介した。

息子とは、その後間もなく別かれて、息子は銀座にある支社での仕事に戻って行った。

各コーナーの各ブースを見ながら、繋がっているブースを、番号の若い順番からなるようにパネル単位で写真に撮った。その最中に J H 4 T Y E 前岡山県支部長にお目にかかった。

ブースでは、毎年のごとく、展示されているジャンクを手にとって、いろいろなことを尋ねたり値引き交渉をしたり、ブースのメンバーが作って販売しているものを買って求めたり、ただ展示されているものを見たり、ブースのメンバーとアイボール Q S O を楽しんだり、ブースが行っている抽選会に参加したり等々という具合に、入場者はそれぞれが多様な楽しみ方を満喫していたが、人気のブースでは、入場者が多いために、前の人の肩越しにのぞき込めないところがかかりあった。

今年も会場内で、多くの方々とお話しすることができたが、残念なことに、今年も倉敷クラブのメンバーにはお目にかかれなかった。

帰る時間が近づいたので、会場を出てバス停へ向かった。

朝とは逆のルートで、東京ビッグサイト 13 時 3 分発の定期バスに乗ろうとバス停に停車しているバスに近づいたら、かなり混んでいる様子だった。次のバスはと、バス乗り場に立っていた都バスの案内の人に尋ねたら、このバスは臨時の急行だとのこと。急行ならば立っていても乗車する時間が短く我慢できるだろうと乗り込んだら、ありがたいことに空席があって座ることができた。

私の隣の窓際の席には、中年の女性が座っていて、バッグから大きめの定形封筒を取り出して、中の書類を何度も読んでいた。その書類は、本日実施されたアマチュア無線技士の臨時国家試験の合格通知と従事者免許申請書で、何度も読み返している気持ちがよく分かった。私は心の中で、その女性に「おめでとう」と言った。

東京駅八重洲南口へ戻り、新幹線に乗車し、新大阪で九州新幹線のさくらに乗り継いで、岡山へは 19 時 11 分に到着した。山陽線で倉敷へ戻り、倉敷駅からは、駅の駐輪場へ置いた自転車帰宅した。

来年は、8 月 20 日（土）～ 21 日（日）に、今年と同じく東京ビッグサイト西 2 展示ホールで開催される予定になっているので、来年も是非見学したいと思っている。

N E W S

d e J A 4 K I

◎ J A R L 岡山県支部 ハムの集い岡山 2015 開催される

7月26日(日)10時より、赤磐市桜が丘東5-5-391にある、赤磐市桜が丘いきいきセンター 1階ホールで、来賓に中国総合通信局無線通信部陸上課長 佐々木信行、同 企画調整課上席企画監理官 田中誠治、同 陸上課公益企業担当チーフ 大谷祐介、J A R L 理事・中国地方本部長 J A 4 D L F 綱島俊昭の各氏をお迎えして、ハムの集い岡山 2015 が開催されました。

J A R L 岡山県支部長 J R 4 X E Y 大崎二郎氏の開会挨拶、来賓の中国総合通信局無線通信部陸上課長 佐々木信行氏と、J A R L 理事・中国地方本部長 J A 4 D L F 綱島俊昭氏より来賓挨拶の後、祝電の披露が行われました。

続いて、オール岡山コンテストの入賞者に対する表彰式が行われ、入賞者に賞状が支部長より手渡されました。

次に、中国総通陸上課長 佐々木信行氏より、「災害時におけるアマチュア無線の役割」と題しての講演がありました。

続いて岡山県支部長 J R 4 X E Y 大崎氏より、岡山県支部の活動報告・活動計画・会計報告が行われました。

参加者の集合写真は、予定していたカメラマンが欠席のため、支部役員の J H 4 L P Y 氏がカメラマンになって撮影されました。

12時からの昼食休憩の後、12時50分から再開され、6月14日(日)に東京都新宿区で開催された第4回 J A R L 社員総会についての報告が、J A 4 K I 吉岡 謙社員・岡山県支部顧問から行われましたが、その他にも、社員制度を執るに至った理由や、会計、終身会員の動向などについても報告されました。

続いて岡山県支部役員の J H 4 L P Y 梶田氏から、昨年10月27日(月)に、美星小学校 8 N 4 S T A R と、国際宇宙ステーション N A 1 S S で行われたスクールコンタクトについての実施のようについての講演が行われました。

次にアイコム広島営業所の新谷氏と、Y A E S U 本社の J E 4 H B P / J A 1 A G S 山本氏から自社の製品紹介や特徴の説明の講演が行われました。

次に岡山県支部役員の紹介があり、続いてビンゴゲームによって抽選会が行われました。

最後に支部役員の J H 4 L P Y 梶田氏から閉会の挨拶が行われ、16時頃閉会しました。

なお、ホールに近接した別室では、J A R L 創立 90 周年特別記念局 8 J 4 9 0 Y の運用が、Y A E S U から提供された F T - 9 9 1 M を利用して行われました。

他の別室では、中国総通による電波利用電子申請・届出システム Lite のコーナーが設けられ、電子申請・届出を利用するためのユーザー登録の受付、利用の手引きの配布、質問への回答等が行われました。

無線器機メーカーのコーナーでは、アイコムと Y A E S U の二社による、製品展示説明が行われました。

その他、希望者の出店によるジャンク市が開催されました。

受付名簿に記名された参加者は、86名でした。

◎ ハムフェア 2015 開催される

我が国のアマチュア無線界最大のイベントである今年のハムフェアは、J A R L 創立 90 周年記念として、8月22日(土)～23日(日)に東京都江東区にある東京ビッグサイト西2ホールで開催されました。

その様子については、別項に J A 4 K I 吉岡さんが書いておられますので、そちらをお読みください。

お 知 ら せ

d e J A 4 K I

◎アマチュア無線技士国家試験

- ・第一級・第二級アマチュア無線技士

8月期の試験を受験された方の結果はいかがだったでしょうか。吉報をお待ちしています。

次の試験期は12月で、一アマ技士は5日(土)、二アマ技士は6日(日)、受試申請書の受付期間は、10月1日(木)から20日(火)までで、インターネットによる申請の受付期間も同じです。

近隣の試験地は、大阪市・広島市・松山市などで、その他各地の総合通信局所在地で実施されます。どこの試験地で受けてもかまいません

- ・第三級・第四級アマチュア無線技士

近隣の試験地・試験月日	大阪	2015年11月15日(日)
		12月6日(日)
	広島	2016年1月17日(日)
		2015年11月8日(日)
		2016年1月17日(日)
	松山	2015年11月15日(日)

受付期間 試験月が11月までのものは既に先月までに終わっています。

12月のものは10月1日(木)～20日(火)

来年1月のものは11月1日(日)～20日(金)で

インターネットによる申請の受付期間は、

曜日にかかわらず受付月の1日から20日までです。

試験科目および試験開始時刻 法規と無線工学で、開始時刻は受験票で通知されます。

試験地 受験申請書を提出した協会所在地の総合通信局所在地で、詳しい場所は、受験票で指定されます。

なお、本年度の予定の全ては、本誌4月号の末尾に、試験案内を掲載してありますが、エラーがありましたので、訂正がまだの方は、クラブのホームページから、4月号の正しいページをプリントアウトしたものと差し替えてご利用下さい。